

編集・発行：公益社団法人教育文化協会
〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館内
tel 03-5295-5421 fax 03-5295-5422

URL <https://www.rengo-ilec.or.jp>

発行責任者：専務理事 木村裕士

通信 No.61

就任および新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。

旧年中、会員の皆様方には公益社団法人教育文化協会（^{アイレック}ILEC）
に対するご支援・ご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。本年
が皆様方にとって輝かしい1年となりますようお祈りいたします。
私は、昨年、12月1日付で理事長に就任致しました相原康伸と申しま
す。引き続きのご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



理事長 相原 康伸

日本を含む、世界の各国は、この間、新型コロナウイルスとの闘いを余
儀なくされてきました。同時に、我が国は、労働力人口の急減、産
業構造の転換と雇用のあり方、格差の拡大と貧困の連鎖など、立ち
ふさがる社会課題へ力強く対処していかなくてはなりません。

従い、諸課題に適切、かつ、柔軟に対応し得る、新たな時代を拓く人財を育むことは、なお一
層、重要性を増しています。全国26大学で開講している「連合寄付講座」では、社会人として働
くにあたり役立つ知識を学生に学んでもらうことのみならず、多くの学生の皆さんとの対話を通
じ、「働くこと」への理解や「自ら考える力」を身に付けてもらうことも大事な達成目標に掲げ
ています。

私たちは、社会の様々な知見を総結集して、その期待に応えるべく、多くの意義ある学びの機
会を提供して参ります。

一方、「私の提言」募集や「幸せさがし文化展」の開催など、働く人たちとその家族のための
学習、文化活動の支援も私たちの主たる事業です。支援の機会を通じ、一人ひとりが新たな自分
を発見すること、その発見がさらに他の人々を感動と共感で結び合わせることは、大変、社会性・
公共性に富んだ活動と言えます。

教育文化協会は、様々な学びの入り口、社会参加の入り口をより多くの皆さまに提供し、社会
を形作る公益の最大化に努めて参ります。引き続き、スタッフ共々、皆さま方のご支援・ご協力
をお願い申し上げます。

公益社団法人 教育文化協会（^{アイレック}ILEC）は、

- ・すべての皆さんに働くことを軸とした学びの機会を提供し、応援します！
- ・新たな自分の発見とその感動をつなぐ文化活動の機会を提供し、応援します！
- ・その応援の総和を人財の育成と健全な社会の発展に結実させていきます！

退任のご挨拶

2013年11月に教育文化協会の理事長に就任して、教育事業、文化事業、出版・広報事業に従事してまいりましたが、このたび、2021年11月30日をもって退任いたしました。在任中、多大なるご支援・ご協力をいただきましたことに、心より御礼申し上げます。

就任当時は2011年の東日本大震災から2年が経過したところではありましたが、その後も、台風や地震、さまざまな自然災害に襲われ、さらには未曾有の事態を引き起こした新型コロナウイルスの影響は未だ継続中であり、教育文化協会にとっても試練の重なる年月だったと感じています。事業運営の内容を大きく転換したことも数多くありました。

しかし、そのような中であっても、教育文化協会は歩みを止めず、労働教育に力を注いでまいりました。将来を担うリーダー育成を目的とした「Rengoアカデミー・マスターコース」では、送り出した修了生のみなさんが各所で重責を担い、活躍されています。大学生に「働くということ」を伝え、労働運動の意義等を理解してもらう「連合寄付講座」でも、この講座を履修した方が社会人になり、弊協会や連合をはじめとした関係諸団体とのつながりを持つことも出てきました。

3つの柱のうちの1つである文化事業にも関わる人が年々増えており、働く仲間だけではなく、すべての方を対象とした「私の提言」と「幸せさがし文化展」についても、その裾野は着実に広がっています。2020年には日本労働文化財団と組織統合し、高度専門人材の育成を担う連合大学院事業にも携わることになりました。

在任中の8年は長かった気もしますし、あっという間だった気もします。いずれにせよ、みなさまの力をお借りして使命を全うすべく、事務局と一体になって駆け抜けてきたということでしょうか。この8年間、みなさまからいただいたあたたかいご支援に改めて感謝申し上げますとともに、これからの教育文化協会の発展を見守り、また、引き続きお力添えいただけますようお願い申し上げます。退任のご挨拶といたします。



前理事長
南雲 弘行

— 臨時総会で新役員体制を決定 —

当協会では、2021年11月10日、12月10日の臨時総会において、役員を選任を行いました。新たな役員体制は以下の通りです。今後とも、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(2022年1月7日現在)

理事長(新)	相原 康伸	理事	椎木 盛夫	理事	立川 博行	理事	廣瀬真理子
副理事長(新)	清水 秀行	理事(新)	綱島 和彦	理事	園田 龍一	理事	伊丹謙太郎
専務理事	木村 裕士	理事	石川 幸徳	理事	佐藤 憲仁	理事	今野浩一郎
専務理事	安永 貴夫	理事	瀧本 司	理事	濱田 毅司	理事	藤田 親継
常務理事	村杉 直美	理事	坂田 幸治	理事	新谷 信幸		
常務理事	永井 浩	理事	北野 眞一	理事(新)	元林 稔博	監事	小熊 栄
理事	八野 正一	理事	難波 淳介	理事	南部美智代	監事	松岡 衛
理事(新)	並木 泰宗	理事	酒向 清	理事	細野 誠一	監事	度会 章仁
理事	榎本 朋子	理事	木村 敬一	理事	宮本 礼一		
理事	中澤 清孝	理事	伊藤 敏行	理事	中村 圭介		

今般、次の役員が退任しました。在任中ひとかたならぬご厚情をいただき、心より感謝申し上げます。なお、南雲弘行氏は、12月1日付けで、当協会顧問に就任しました。

(前)理事長 南雲 弘行 (前)理事 金子 晃浩 (前)理事 和田口 具視
(前)理事 塩田 正行

Rengoアカデミー第21回マスターコースが開講

～約1年におよぶプログラムがスタート！～

Rengoアカデミー第21回マスターコース（校長：芳野友子連合会長）が2021年11月14日（日）に開講し、MELONDIAあざみ野で開講式を行いました。

主催者を代表して相原副理事長（役職は開講時）が挨拶し、「今回、対面での運営を再開したのは非常に大きなチャレンジである。手探りではあるものの、パンデミック時代の運営を全員で一緒に創っていきたい」と受講生に伝えました。

つづいて、芳野友子Rengoアカデミー校長、中村圭介教務委員長（法政大学大学院連帯社会インスティテュート教授）から、受講生に対する激励のメッセージが送られました。

最後に、連合長野の竹村進さんから、受講生18名を代表して決意表明が行われました。

開講式の後、5泊6日の前期合宿がスタートしました。受講生は、幅広い領域・分野の講義（下表①）を受けるとともに、グループワークを通じて活発な意見交換を行い、講義後は5つのゼミナール（下表②）に分かれ、毎日熱心に議論を交わしました。受講生は今後、数回行われる必修ゼミで自身の課題認識を掘り下げ、後期合宿（2022年5月15日～20日）で修了論文の構想を発表する予定です。

7月の修了論文提出、9月の修了式まで約1年にわたるプログラムとなりますが、後期も感染対策を徹底し、運営してまいります。派遣いただいている各組織におかれましては、受講生への温かいご協力・ご支援をお願いいたします。



①Rengoアカデミー第21回マスターコース・前期集中講義の内容

講義日	講義	講師
11/14 (日)	論文のまとめ方	中村 圭介 Rengoアカデミー教務委員長
	連合の役割・行動I	芳野 友子 連合会長
11/15 (月)	アサーティブ・トレーニング	竹崎かずみ アサーティブ・ジャパン専属講師
	歴史からみた労働組合の役割	仁田 道夫 東京大学名誉教授
11/16 (火)	ジェンダーと労働	神尾真知子 日本大学特任教授
	仕事と賃金	石田 光男 同志社大学名誉教授
11/17 (水)	労働法の基礎	長谷川 聡 専修大学教授
	連合組織強化の課題	河野 広宣 連合総合組織局長
		山本 昌弘 連合総合組織局長
		中村 圭介 Rengoアカデミー教務委員長
11/18 (木)	日本の財政と社会政策の課題	井手 英策 慶應義塾大学教授
	「安心社会」への戦略を考える	宮本 太郎 中央大学教授
11/19 (金)	人材活用と人事管理の課題	橋元 秀一 國學院大學教授
	組合リーダーに聞く	安河内賢弘 JAM会長
		橋元 秀一 國學院大學教授

②ゼミナールの内容

担当教員・テーマ	
禹ゼミ	禹 宗杭 埼玉大学教授 グローバル化と日本の労働組合
梅崎ゼミ	梅崎 修 法政大学教授 キャリアと労使関係
木本ゼミ	木本喜美子 一橋大学名誉教授 少子高齢社会のなかの 人間と労働組合
毛塚ゼミ	毛塚 勝利 労働法学者 労働法と労働組合
橋元ゼミ	橋元 秀一 國學院大學教授 企業・職場と労働組合



「ワークルール検定2021・秋」を実施

教育文化協会は、連合や中央労福協などとともに、労働法に関わる一般的な知識の理解度について検定を行う「ワークルール検定」の運営に参画しながら、その展開・拡大に取り組んでおり、今回は2021年11月28日（日）に初級検定を全国30ヵ所、中級検定を全国4ヵ所で実施しました。初級は、1,146名の方が受検し762名の方が、中級は195名の方が受検し145名の方が合格されました。



次回の検定は、2022年6月12日（日）に初級と中級を実施する予定です。詳しくは下記ホームページをご覧ください（2022年3月上旬掲載予定）。



①HP : <https://workrule-kentei.jp/>

②Facebook : <https://www.facebook.com/workrulekentei/>

③Twitter : <https://twitter.com/workrulekentei>

連帯社会研究交流センター 連続講座のご紹介

連帯社会研究交流センター（ReCSS／通称：レックス）は、連帯社会に関わる研究者の方々に問題提起をいただく「連続講座」を実施しています。

Z o o m開催のため、全国どこからでも参加できます。みなさまのお申込みをお待ちしています。

連続講座プログラム一覧

2022年2月19日（土） 15：00～16：40	テーマ：コロナ禍におけるNPOと休眠預金等活用法 講師：藤岡喜美子（NPO法人 市民フォーラム21・ NPOセンター事務局長）
------------------------------	---

ご応募はこちらから

→ <http://recss.jp/event.html>



第16回「労働法講座」（基礎コース）を開催します

2022年1月31日（月）～2月1日（火）の日程で、联合会館において第16回「労働法講座」（基礎コース）を開催します。今年は感染防止対策の観点から、40名に制限しての開催となります。

初日は労働組合や連合の取り組みを紹介し（連合本部）、午後は労働契約法、労働安全衛生法などについてお話しいたきます（野川忍 明治大学教授）。



▲前回（2020年度）開催の様子

2日目は労働組合法や男女雇用機会均等法、パートタイム・有期雇用労働法などについてお話しいたきます（森戸英幸 慶應義塾大学教授）。

参加申し込みの締め切りは2022年1月24日（月）です。みなさまのご参加をお待ちしております。

お申込みは [ILEC 労働法講座](https://www.rengo-ilec.or.jp/seminar/roudouhou/index.html) で検索 <https://www.rengo-ilec.or.jp/seminar/roudouhou/index.html>

● 新刊のご紹介 ●

このたび、日本女子大学名誉教授の高木郁朗先生が、旬報社より『戦後革新の墓碑銘』を刊行しました。

本書は、一橋大学の中北浩爾教授が、2014年から2年間にかけて聞き取りをしたオーラル・ヒストリーに、高木先生が加筆して本にまとめたものです。社会党（現・社民党）の労働・社会保障政策づくりに関わり、戦後革新の「脚本家」として渡り歩いた中で体験したことがきめ細かに記され、現代史を理解するための道標となる1冊です。教育文化協会設立のいきさつにも触れていただいています。

お求めの際は、全国の書店もしくは出版元の旬報社までお問い合わせください。

『戦後革新の墓碑銘』



2021年12月3日発行
高木郁朗著 中北浩爾編
248ページ、本体1800円十税

編集後記

Rengoアカデミー・マスターコースは久しぶりに対面運営ができました。感染防止のための備品や消耗品の準備、1日目から最終日まで感染疑いが発生したタイミング毎に何パターンものシミュレーション、制限がある中でどこまで受講生に自主的な運営をしてもらい、最大限楽しんでもらうことができるのか…数えきれないほどの取捨選択をし、悩み、葛藤しながらの半年でした。舞台裏は見せてはいけないのかもしれませんが、大切な受講生のみなさんをお預かりする以上、後期に向けてもできる限り情報開示をしていきたいと考えています。（ぴー子）